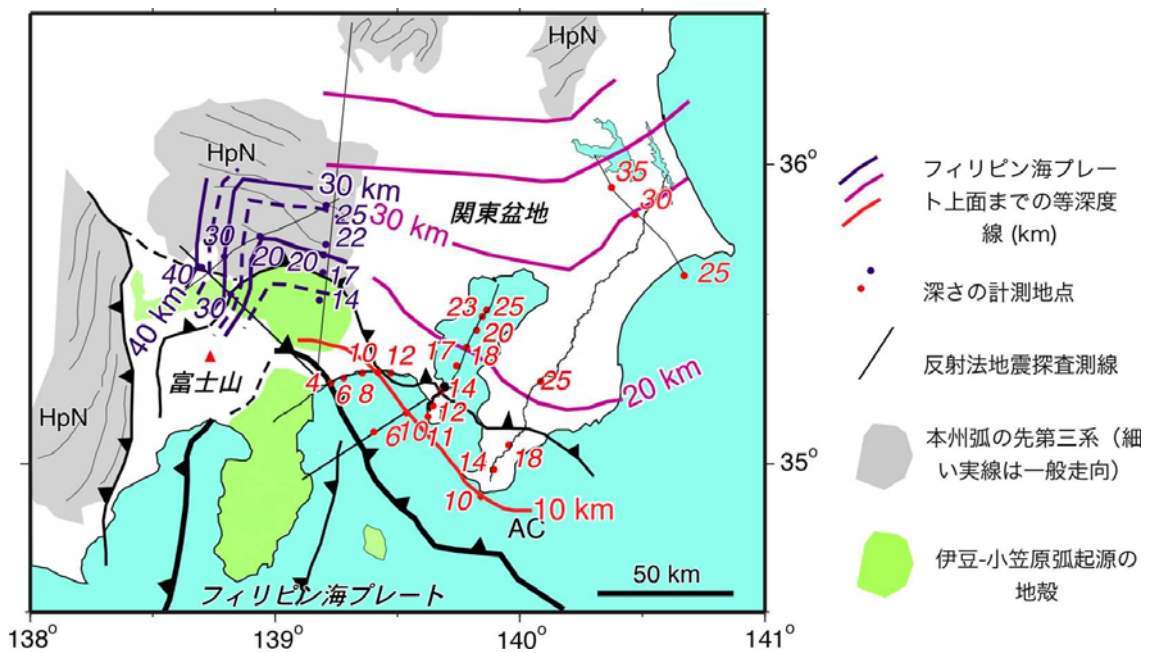
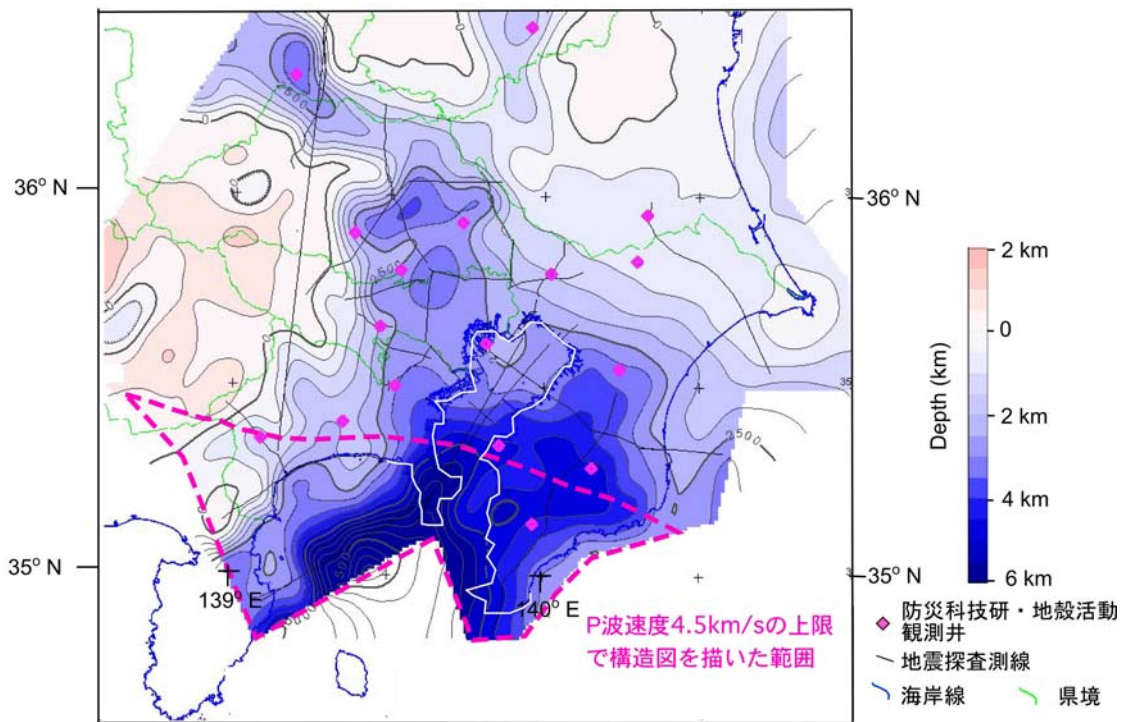


関東堆積盆地の基盤深度とフィリピン海プレートの形状 (3.2 参照)



地震探査断面・ボーリング・重力異常をもとに、自己組織化マップの手法を用いて、首都圏の P 波速度が 4.5 km を越える先新第三系基盤上面の深度を求めた (上)。地震波トモグラフィでの速度構造を基礎にして深度変換を行い、フィリピン海プレート上面の等深度線を描いた (下)。